

令和3年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

令和3年4月14日

上場会社名 株式会社エスケイジャパン 上場取引所 東
 コード番号 7608 URL https://www.sk-japan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 石井 正則 TEL 03-6660-5005
 定時株主総会開催予定日 令和3年5月28日 配当支払開始予定日 令和3年5月31日
 有価証券報告書提出予定日 令和3年5月31日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年2月期の連結業績（令和2年3月1日～令和3年2月28日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年2月期	5,357	△18.9	224	△63.2	230	△62.3	285	△45.9
2年2月期	6,605	△3.7	609	△22.5	611	△22.8	527	△23.6

(注) 包括利益 3年2月期 311百万円 (△40.8%) 2年2月期 526百万円 (△23.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
3年2月期	33.81	—	8.3	5.8	4.2
2年2月期	63.04	—	17.1	16.6	9.2

(参考) 持分法投資損益 3年2月期 一百万円 2年2月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年2月期	4,069	3,559	87.5	421.76
2年2月期	3,901	3,318	85.1	394.82

(参考) 自己資本 3年2月期 3,559百万円 2年2月期 3,318百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
3年2月期	427	△25	△84	2,613
2年2月期	362	△96	△67	2,297

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2年2月期	—	4.00	—	6.00	10.00	83	15.9	2.7
3年2月期	—	4.00	—	4.00	8.00	67	23.7	2.0
4年2月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00		26.3	

(注) 令和2年2月期期末配当金の内訳 普通配当4円 30周年記念配当2円

3. 令和4年2月期の連結業績予想（令和3年3月1日～令和4年2月28日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,750	7.3	300	33.5	300	30.1	250	△12.4	30.41

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

3年2月期	8,490,103株	2年2月期	8,490,103株
3年2月期	50,084株	2年2月期	84,142株
3年2月期	8,437,691株	2年2月期	8,367,471株

(参考) 個別業績の概要

1. 令和3年2月期の個別業績（令和2年3月1日～令和3年2月28日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年2月期	5,381	△18.1	244	△59.6	249	△58.8	302	△42.1
2年2月期	6,570	△3.2	603	△22.2	606	△22.3	522	△23.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
3年2月期	35.80	—
2年2月期	62.39	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年2月期	4,067	3,560	87.5	421.81
2年2月期	3,884	3,302	85.0	392.86

(参考) 自己資本 3年2月期 3,560百万円 2年2月期 3,302百万円

2. 令和4年2月期の個別業績予想（令和3年3月1日～令和4年2月28日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	5.9	312	25.0	262	△13.3	31.87

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 個別財務諸表及び主な注記	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、令和2年2月以降の「新型コロナウイルス感染症」の世界的な感染拡大により国内外の経済に深刻な影響が及んでおり、日本政府からは二度にわたり緊急事態宣言が発出されるなど、個人消費と企業活動が著しく制約され依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは売上高が5,357百万円（前期比18.9%減）、営業利益は224百万円（前期比63.2%減）、経常利益は230百万円（前期比62.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は285百万円（前期比45.9%減）と売上・利益とも前期実績を大きく下回ったものの、利益面では賞与を始めとする人件費、海外への渡航費を含む旅費交通費その他諸経費の大幅削減効果により期初の業績予想を上回る結果となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

キャラクターエンタテインメント事業は、昨年春に新型コロナウイルス感染拡大の影響より取引先店舗の臨時休業が相次いだ事により、定番キャラクターの受注が大幅に減少した事と取引先からの強い要請により受注済みの商品の出荷を順延させた事に加え、不安定な市場環境下での新規コンテンツの発売を延期した結果、売上高2,994百万円（前期比33.1%減）、営業利益184百万円（前期比66.5%減）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクター・ファンシー事業は、昨年春に新型コロナウイルス感染拡大の影響より大部分の取引先が臨時休業を余儀なくされただけでなく、営業再開以降も来店客数が伸びないことが定番キャラクター商品の売上が落ち込む一因となりましたが、人気漫画「鬼滅の刃」、人気菓子「たべっ子どうぶつ」商品の販売が好調であった事と、バスボール（フィギュア入り入浴剤）、マスク関連商材である「マスクケース」の販売が順調に推移した結果、売上高については2,362百万円（前期比11.1%増）と増加しましたが、営業利益については商品構成の変化による利益率の低下を余儀なくされ39百万円（前期比31.5%減）に留まりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は3,725百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が150百万円、電子記録債権が148百万円減少したものの、現金及び預金が316百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は344百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が85百万円、投資有価証券が37百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、4,069百万円となり、前連結会計年度末に比べ168百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は465百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円減少いたしました。これは主に買掛金が38百万円、未払法人税等が36百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は44百万円となり、前連結会計年度末から大きな変動はありませんでした。

この結果、負債合計は、510百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は3,559百万円となり、前連結会計年度末に比べ240百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益285百万円を計上した一方、減少要因として剰余金の配当84百万円を行ったこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は87.5%（前連結会計年度末は85.1%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の減少額、税金等調整前当期純利益があったこと等により、前連結会計年度末に比べ316百万円増加し、当連結会計年度末には2,613百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、427百万円（前年同期は362百万円の獲得）となりました。

これは主に、売上債権の減少額299百万円、税金等調整前当期純利益230百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、25百万円（前年同期は96百万円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出22百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、84百万円（前年同期は67百万円の使用）となりました。

これは主に、配当金の支払額83百万円があったこと等によるものであります。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成31年2月期	令和2年2月期	令和3年2月期
自己資本比率（％）	82.1	85.1	87.5
時価ベースの自己資本比率（％）	170.3	72.4	91.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	—	—	567.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー（利息及び法人税等控除前）

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー（利息及び法人税等控除前）／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フロー（利息及び法人税等控除前）は、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フロー（利息の支払額及び法人税等の支払額控除前）を使用しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

昨年春からのコロナ禍は、エンドユーザーの日常生活と消費行動に大きな影響を及ぼし、依然として厳しい経営環境が続くものと思われま。

このような状況の中でも当社は、お客様のニーズを創造した「商品開発」および「サービス向上」に注力するため、個々の社員のさらなるレベルアップとマネジメント体制の強化に全力を挙げて取り組んでまいります。

次期の連結業績予想につきましては、連結売上高5,750百万円、営業利益300百万円、経常利益300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益250百万円とし、個別の業績予想につきましては、売上高5,700百万円、経常利益312百万円、当期純利益262百万円、を予想しております。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

配当政策につきましては、一定のROE（自己資本当期純利益率）の確保と株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけています。

そして、「安定かつ継続的な配当」を実施するとともに、極めて変化の激しいキャラクター業界の将来の備えとして、内部留保は「新商品の開発」と「優秀な人材の確保・執務環境の改善・社員の健康増進」等に活用いたします。

当期の期末配当金につきましては、期初の公表値1株当たり4円とし、中間配当金1株当たり4円を含めた年間配当金は8円を実施する予定といたしました。

また次期の配当金につきましては、中間配当金は普通配当1株当たり4円、期末配当は1株当たり4円、年間配当金は1株当たり8円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年2月29日)	当連結会計年度 (令和3年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,297,032	2,613,178
受取手形及び売掛金	747,081	596,703
電子記録債権	278,584	130,023
商品	242,604	259,902
その他	96,037	126,033
貸倒引当金	△215	△246
流動資産合計	3,661,126	3,725,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,697	14,697
減価償却累計額	△13,808	△14,697
建物及び構築物（純額）	888	0
その他	156,585	177,836
減価償却累計額	△124,522	△155,089
その他（純額）	32,062	22,746
有形固定資産合計	32,951	22,746
無形固定資産		
投資その他の資産	52,813	40,302
投資有価証券	44,645	82,522
破産更生債権等	6,036	876
退職給付に係る資産	42,796	45,412
繰延税金資産	55,253	140,310
その他	11,993	12,753
貸倒引当金	△6,036	△876
投資その他の資産合計	154,688	280,998
固定資産合計	240,453	344,048
資産合計	3,901,579	4,069,644

(単位:千円)

	前連結会計年度 (令和2年2月29日)	当連結会計年度 (令和3年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	290,994	252,577
未払金	108,220	102,416
未払費用	29,636	29,822
未払法人税等	44,198	7,316
賞与引当金	22,260	20,475
その他	43,353	53,258
流動負債合計	538,662	465,867
固定負債		
執行役員退職慰労引当金	907	1,925
その他	43,175	42,208
固定負債合計	44,082	44,133
負債合計	582,745	510,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	494,622	494,865
利益剰余金	2,383,450	2,584,567
自己株式	△32,184	△19,043
株主資本合計	3,307,884	3,522,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,684	37,484
繰延ヘッジ損益	1,115	2,724
為替換算調整勘定	△2,850	△2,953
その他の包括利益累計額合計	10,949	37,255
純資産合計	3,318,834	3,559,643
負債純資産合計	3,901,579	4,069,644

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日)	当連結会計年度 (自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日)
売上高	6,605,637	5,357,633
売上原価	4,405,555	3,702,796
売上総利益	2,200,082	1,654,837
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	345,463	286,334
貸倒引当金繰入額	△201	533
給料及び手当	509,303	489,043
賞与引当金繰入額	22,260	20,475
福利厚生費	117,082	102,357
退職給付費用	21,516	12,039
執行役員退職慰労引当金繰入額	907	1,017
減価償却費	45,870	44,100
その他	527,913	474,273
販売費及び一般管理費合計	1,590,116	1,430,174
営業利益	609,966	224,662
営業外収益		
受取利息	88	46
受取配当金	805	865
為替差益	—	2,398
賃貸収入	1,245	1,371
雇用調整助成金	—	1,816
その他	484	424
営業外収益合計	2,623	6,922
営業外費用		
支払利息	—	885
為替差損	651	—
その他	4	85
営業外費用合計	656	970
経常利益	611,933	230,613
特別損失		
固定資産売却損	127	—
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	127	—
税金等調整前当期純利益	611,806	230,613
法人税、住民税及び事業税	91,708	41,891
法人税等調整額	△7,376	△96,593
法人税等合計	84,332	△54,701
当期純利益	527,473	285,314
親会社株主に帰属する当期純利益	527,473	285,314

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日)	当連結会計年度 (自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日)
当期純利益	527,473	285,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,179	24,800
繰延ヘッジ損益	619	1,608
為替換算調整勘定	△135	△102
その他の包括利益合計	△694	26,306
包括利益	526,778	311,621
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	526,778	311,621
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自平成31年3月1日 至令和2年2月29日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	461,997	492,935	1,922,816	△51,678	2,826,070
当期変動額					
剰余金の配当			△66,839		△66,839
親会社株主に帰属する当期純利益			527,473		527,473
自己株式の取得				△26	△26
自己株式の処分				19,520	19,520
自己株式処分差益		1,686			1,686
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）					
当期変動額合計	—	1,686	460,634	19,494	481,814
当期末残高	461,997	494,622	2,383,450	△32,184	3,307,884

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	13,863	495	△2,715	11,643	2,837,714
当期変動額					
剰余金の配当					△66,839
親会社株主に帰属する当期純利益					527,473
自己株式の取得					△26
自己株式の処分					19,520
自己株式処分差益					1,686
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）	△1,179	619	△135	△694	△694
当期変動額合計	△1,179	619	△135	△694	481,119
当期末残高	12,684	1,115	△2,850	10,949	3,318,834

当連結会計年度（自令和2年3月1日 至令和3年2月28日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	461,997	494,622	2,383,450	△32,184	3,307,884
当期変動額					
剰余金の配当			△84,197		△84,197
親会社株主に帰属する当期純利益			285,314		285,314
自己株式の取得				△152	△152
自己株式の処分				13,293	13,293
自己株式処分差益		243			243
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）					
当期変動額合計	—	243	201,117	13,141	214,502
当期末残高	461,997	494,865	2,584,567	△19,043	3,522,387

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	12,684	1,115	△2,850	10,949	3,318,834
当期変動額					
剰余金の配当					△84,197
親会社株主に帰属する当期純利益					285,314
自己株式の取得					△152
自己株式の処分					13,293
自己株式処分差益					243
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）	24,800	1,608	△102	26,306	26,306
当期変動額合計	24,800	1,608	△102	26,306	240,809
当期末残高	37,484	2,724	△2,953	37,255	3,559,643

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日)	当連結会計年度 (自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	611,806	230,613
減価償却費	45,870	44,100
賞与引当金の増減額（△は減少）	2,660	△1,785
執行役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	907	1,017
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△6,624	△5,129
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	3,105	△2,616
受取利息及び受取配当金	△894	△911
支払利息	—	885
固定資産売却損益（△は益）	127	—
売上債権の増減額（△は増加）	△130,366	299,045
たな卸資産の増減額（△は増加）	△40,877	△17,171
仕入債務の増減額（△は減少）	56,085	△38,660
未払金の増減額（△は減少）	△24,937	△4,276
その他	△6,995	△3,156
小計	509,867	501,954
利息及び配当金の受取額	894	911
利息の支払額	—	△885
法人税等の支払額	△148,432	△74,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	362,328	427,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2,201	△2,249
有形固定資産の取得による支出	△41,486	△22,517
有形固定資産の売却による収入	18	—
無形固定資産の取得による支出	△52,221	△131
差入保証金の差入による支出	△1,075	△1,033
差入保証金の回収による収入	188	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,778	△25,931
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△26	△152
配当金の支払額	△66,407	△83,815
その他	△966	△966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,400	△84,934
現金及び現金同等物に係る換算差額	△482	△214
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	197,666	316,145
現金及び現金同等物の期首残高	2,099,365	2,297,032
現金及び現金同等物の期末残高	2,297,032	2,613,178

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済や生活行動等に広範な影響を与える事象であり、令和3年3月以降も1年程度その影響が続くものと想定しております。当該仮定に基づき、繰延税金資産（140,310千円）の計上にあたっては、将来の課税所得の見積を行い回収可能性の判断を行っております。

なお、当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルスの感染拡大の状況やその経済への影響が当初の想定より変化した場合には、繰延税金資産が減額され税金費用が計上される可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び経営成績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、(株)エスケイジャパン、SKJ USA, INC.、愛斯凱杰（北京）文化伝播有限公司の3事業会社を展開しており、以下の事業内容に基づき「キャラクターエンタテインメント事業」、「キャラクター・ファンシー事業」の2つを報告セグメントとしております。

<キャラクターエンタテインメント事業>

主として、キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー等を国内外のアミューズメント施設へ販売する事業及び企業の販売促進商品を企画販売する事業であります。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー等を雑貨専門店や量販店等へ販売する事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	キャラクターエンタテインメント事業	キャラクター・ファンシー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,478,510	2,127,126	6,605,637	—	6,605,637
セグメント間の 内部売上高又は振替高	75	153	228	(228)	—
計	4,478,586	2,127,279	6,605,866	(228)	6,605,637
セグメント利益	551,828	58,138	609,966	—	609,966
セグメント資産	2,514,538	1,387,040	3,901,579	—	3,901,579
その他の項目					
減価償却費	33,035	12,835	45,870	—	45,870
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	68,332	34,847	103,179	—	103,179

当連結会計年度(自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	キャラクター・エンタテインメント事業	キャラクター・ファンシー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,994,764	2,362,869	5,357,633	—	5,357,633
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	149	149	(149)	—
計	2,994,764	2,363,019	5,357,783	(149)	5,357,633
セグメント利益	184,853	39,808	224,662	—	224,662
セグメント資産	2,473,539	1,596,104	4,069,644	—	4,069,644
その他の項目					
減価償却費	33,215	10,885	44,100	—	44,100
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	18,800	2,576	21,376	—	21,376

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,605,866	5,357,783
セグメント間取引消去	△228	△149
連結財務諸表の売上高	6,605,637	5,357,633

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	609,966	224,662
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の営業利益	609,966	224,662

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,901,579	4,069,644
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の資産合計	3,901,579	4,069,644

【関連情報】

前連結会計年度（自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日）

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスごとの営業収入は、取扱い品目が多岐にわたり記載が困難であるため省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客先の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ラウンドワン	859,293	キャラクターエンタテインメント事業

当連結会計年度（自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日）

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスごとの営業収入は、取扱い品目が多岐にわたり記載が困難であるため省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客先の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ラウンドワン	797,169	キャラクターエンタテインメント事業
株式会社ドン・キホーテ	720,978	キャラクター・ファンシー事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日）		当連結会計年度 （自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日）	
1株当たり純資産額	394.82円	1株当たり純資産額	421.76円
1株当たり当期純利益	63.04円	1株当たり当期純利益	33.81円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在しないため記載しておりません。	

（注）1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日）	当連結会計年度 （自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日）
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	527,473	285,314
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	527,473	285,314
普通株式の期中平均株式数（株）	8,367,471	8,437,691

（重要な後発事象）

（自己株式の取得）

当社は、令和3年4月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

当社は、当社の主要株主である久保泰子氏および久保千晶氏より、その保有する当社普通株式の一部を売却する意向を有している旨の連絡を受けました。これを受け、当社は経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得を行うことといたしました。

2. 取得の内容

- | | |
|--------------------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 250,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.96%） |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 150,000,000円（上限） |
| (4) 取得期間 | 令和3年4月15日から令和3年5月14日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付け（予定） |
| (6) その他必要な事項の一切の決定については、 | 当社代表取締役社長に一任する。 |

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年2月29日)	当事業年度 (令和3年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,272,817	2,574,232
受取手形	46,245	29,605
電子記録債権	278,584	130,023
売掛金	708,393	599,486
商品	242,604	238,013
前払費用	22,679	15,396
前渡金	57,030	95,062
その他	15,722	14,737
貸倒引当金	△215	△246
流動資産合計	3,643,861	3,696,311
固定資産		
有形固定資産		
建物	888	0
工具、器具及び備品	32,062	22,511
有形固定資産合計	32,951	22,511
無形固定資産		
ソフトウェア	49,203	36,564
その他	3,609	3,609
無形固定資産合計	52,813	40,174
投資その他の資産		
投資有価証券	44,645	82,522
関係会社株式	0	31,280
前払年金費用	42,796	45,412
繰延税金資産	55,253	138,042
その他	18,030	12,571
貸倒引当金	△6,036	△876
投資その他の資産合計	154,688	308,952
固定資産合計	240,453	371,639
資産合計	3,884,314	4,067,950

（単位：千円）

	前事業年度 (令和2年2月29日)	当事業年度 (令和3年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	290,967	251,418
未払金	107,561	101,401
未払費用	29,636	29,822
未払法人税等	44,110	7,231
前受金	10,240	33,129
預り金	9,433	10,238
賞与引当金	22,260	20,475
その他	23,679	10,057
流動負債合計	537,889	463,775
固定負債		
執行役員退職慰労引当金	907	1,925
その他	43,175	42,208
固定負債合計	44,082	44,133
負債合計	581,972	507,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金		
資本準備金	492,935	492,935
その他資本剰余金	1,686	1,929
資本剰余金合計	494,622	494,865
利益剰余金		
利益準備金	12,000	12,000
その他利益剰余金		
別途積立金	100,000	100,000
繰越利益剰余金	2,252,107	2,470,013
利益剰余金合計	2,364,107	2,582,013
自己株式	△32,184	△19,043
株主資本合計	3,288,541	3,519,833
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,684	37,484
繰延ヘッジ損益	1,115	2,724
評価・換算差額等合計	13,799	40,209
純資産合計	3,302,341	3,560,042
負債純資産合計	3,884,314	4,067,950

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日)	当事業年度 (自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日)
売上高	6,570,857	5,381,405
売上原価	4,385,658	3,721,123
売上総利益	2,185,198	1,660,282
販売費及び一般管理費	1,581,567	1,416,268
営業利益	603,631	244,013
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	894	867
為替差益	—	2,062
賃貸収入	1,245	1,371
雇用調整助成金	—	1,816
その他	661	424
営業外収益合計	2,801	6,542
営業外費用		
支払利息	—	885
その他	4	85
営業外費用合計	4	970
経常利益	606,428	249,585
特別損失		
固定資産売却損	127	—
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	127	—
税引前当期純利益	606,300	249,585
法人税、住民税及び事業税	91,621	41,807
法人税等調整額	△7,376	△94,325
法人税等合計	84,245	△52,518
当期純利益	522,055	302,103

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自平成31年3月1日 至令和2年2月29日）

(単位：千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	461,997	492,935	—	492,935	12,000	100,000	1,796,891	1,908,891	△51,678
当期変動額									
剰余金の配当							△66,839	△66,839	
当期純利益							522,055	522,055	
自己株式の取得									△26
自己株式の処分									19,520
自己株式処分差益			1,686	1,686					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	—	—	1,686	1,686	—	—	455,215	455,215	19,494
当期末残高	461,997	492,935	1,686	494,622	12,000	100,000	2,252,107	2,364,107	△32,184

	株主資本	評価・換算差額等			純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	2,812,145	13,863	495	14,359	2,826,505
当期変動額					
剰余金の配当	△66,839				△66,839
当期純利益	522,055				522,055
自己株式の取得	△26				△26
自己株式の処分	19,520				19,520
自己株式処分差益	1,686				1,686
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		△1,179	619	△559	△559
当期変動額合計	476,396	△1,179	619	△559	475,836
当期末残高	3,288,541	12,684	1,115	13,799	3,302,341

当事業年度（自令和2年3月1日 至令和3年2月28日）

（単位：千円）

	株主資本								自己株式
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			利益剰余金合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	461,997	492,935	1,686	494,622	12,000	100,000	2,252,107	2,364,107	△32,184
当期変動額									
剰余金の配当							△84,197	△84,197	
当期純利益							302,103	302,103	
自己株式の取得									△152
自己株式の処分									13,293
自己株式処分差益			243	243					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	—	—	243	243	—	—	217,906	217,906	13,141
当期末残高	461,997	492,935	1,929	494,865	12,000	100,000	2,470,013	2,582,013	△19,043

	株主資本	評価・換算差額等			純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	3,288,541	12,684	1,115	13,799	3,302,341
当期変動額					
剰余金の配当	△84,197				△84,197
当期純利益	302,103				302,103
自己株式の取得	△152				△152
自己株式の処分	13,293				13,293
自己株式処分差益	243				243
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		24,800	1,608	26,409	26,409
当期変動額合計	231,291	24,800	1,608	26,409	257,700
当期末残高	3,519,833	37,484	2,724	40,209	3,560,042